

## PSAPPHA - A MUSIC THEATER

プサッファ・サッファ・サッフォー・サッポー・プサッポー……

ヤニス・クセナキスの初期打楽器ソロ作品として世界的に余りにも有名な 'PSAPPHA' (今や伝説となりつつある。)クセナキスがタイトルとなる題材を作品に反映したかどうかは分からないが、曲名「プサッファ」は、古代ギリシャの幻の詩人「サッフォー」のことである。

サッフォー(ΣΑΦΦΩ)は、古代ギリシャ詩人で、紀元前七世紀にレスボス島で生まれ、アエオリア方言で詩を書いた。

作品は、女性的な視点から生まれ、女性の感情や経験を詠みながら、女性自らの声を持ち、表現するための先駆的な取り組みであったことが今日において高く評価されている。女性の権利と平等への理解を広める一環とも言え、その影響は後の時代にも続き、女性の文学的な発声が重要視されるようにもなった。

クセナキスの音楽をキャンバスにして、稀代のダンサー中村恩恵がどのような絵画を描き出すだろうか？

彼女の優雅な動きが、古代と現代、数学と詩の対話を象徴し、神話的旋律の世界へと誘う。

このミュージックシアターが、音楽とダンスが融合する新たな次元を切り拓く舞台芸術の饗宴となることを願う。

— 加藤訓子

# 「数学と詩の対話、 クセナキスの音楽で描く、 サッフォーの神話的旋律の世界」



加藤訓子 演奏  
中村恩恵 ダンス/振付

## IANNIS XENAKIS (1922-2001)

ルーマニア生まれのギリシャ系フランス人の現代音楽作曲家、建築家。

アテネ工科大学にて建築と数学を学び、反ナチス・ドイツのレジスタンス運動に加わり、銃弾を受け傷を追い左目を失う。アメリカへ亡命しようと立ち寄ったパリに定住。

生涯の大半をフランスで過ごす。1948年より建築家ル・コルビュジエの下で学び、ブリュッセル万国博覧会(1958)でフィリップス館の建設に携わる。70'年万博の鉄鋼館スペースシアターにて『響・花・間』(1969)という360度再生の電子音楽を発表。

1997年に京都賞思想芸術部門を受賞し来日。

[構成]	加藤訓子・中村恩恵
[照明デザイン]	岩品武顕
[音響映像デザイン]	寒河江勇志
[舞台]	堀ノ内順三(ファーム)
[制作]	芸術文化ワークス

OFFICE OF KUNIKO KATO, LLC.



### [横浜赤レンガ倉庫1号館・アクセス]

交通機関でお越しの場合:

JR・市営地下鉄「桜木町駅」「開内駅」より徒歩15分  
みなとみらい線「馬車道駅」「日本大通り駅」より徒歩6分

車でお越しの場合:

首都高速横羽線・湾岸線「横浜公園」「みなとみらい」下車  
駐車料金 最初の1時間500円 以後250円/30分

### [公演詳細]



### [公演時間]

2/10 (土) 開演17:00  
2/11 (日) 開演13:00  
開場30分前 開演17:00

Pearl

ADAMS

BOSE

LINN

F&M

Embassy of Greece in Japan

YAMAHA MUSIC JAPAN CO. LTD.

© 2022 BLACK ROOM by Taisuke Tsurui



芸術文化ワークス事務局  
info@npo-artsworks.org  
tel. 080-5075-5038